

今もとめられる 「いのちの教育」



グリーンリボンは
移植医療のシンボルです。

～ 臓器移植を題材とした授業の可能性 ～

新しい学校教育の中では、生命尊重の心を育む道徳授業が「道徳科」として教科化されるなど、「いのちの教育」が一層重視されています。

「いのちの教育」は、子どもの自己肯定感を高め、いじめの抑止力ともなることから、学校の教育活動全体で取り組むことがもとめられています。

本セミナーでは、臓器移植を題材とした「いのちの教育」の実践などを通して、子どもたちが生きる上での多様な価値観を育み、自己の生き方を深めていく教育や実践の在り方について提案し、共に考えを深めます。



●主催 日本教育新聞社 ●共催 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク ●後援 文部科学省

関西 11/11 (日)
 ●受付開始 12:30
 ●開会 13:00
 ●閉会 17:00 ●定員 100人

会場 京都ノートルダム女子大学 大講義室
 〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地
アクセス ●地下鉄烏丸線北山駅…1番出口から東へ徒歩約7分

- プログラム**
- 13:00～13:05 開会挨拶
 - 13:05～14:05 **基調講演**
 「これからの道徳教育といのちの教育の具体的展開」
 柴原弘志氏 (京都産業大学教授)
 - 14:05～14:35 **特別講演**
 種市尋宙氏 (富山大学医学薬学研究部小児科学助教)
 - 14:35～14:55 **臓器移植の現状について**
 臓器移植コーディネーター
 - 14:55～15:10 〈休憩〉
 - 15:10～15:40 **移植者による体験談**
 「臓器移植の体験談から『命』の大切さを伝える」
 横山美紀氏 (北海道札幌西陵高等学校教諭)
 - 15:40～16:10 **授業実践発表**
 「本当に伝えたい!! いのちの授業～臓器移植～」
 佐藤毅氏 (東京学芸大附属国際中等教育学校教諭)
 - 16:10～17:00 **意見交換会**
 コーディネーター：柴原弘志氏

関東 11/17 (土)
 ●受付開始 12:30
 ●開会 13:00
 ●閉会 17:00 ●定員 100人

会場 エッサム神田ホール2号館 4階 大会議室
 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-5
アクセス ●JR神田駅/東京メトロ銀座線神田駅…徒歩約2分

- プログラム**
- 13:00～13:05 開会挨拶
 - 13:05～14:05 **基調講演**
 「これからの道徳教育といのちの教育の具体的展開」
 永田繁雄氏 (東京学芸大学教授)
 - 14:05～14:35 **特別講演**
 植田育也氏 (埼玉県立小児医療センター
 小児救命救急センター部長・救急診療科科長)
 - 14:35～14:55 **臓器移植の現状について**
 臓器移植コーディネーター
 - 14:55～15:10 〈休憩〉
 - 15:10～15:40 **移植者による体験談**
 「臓器移植の体験談から『命』の大切さを伝える」
 横山美紀氏 (北海道札幌西陵高等学校教諭)
 - 15:40～16:10 **授業実践発表**
 「本当に伝えたい!! いのちの授業～臓器移植～」
 佐藤毅氏 (東京学芸大附属国際中等教育学校教諭)
 - 16:10～17:00 **意見交換会**
 コーディネーター：永田繁雄氏

お問い合わせ 日本教育新聞社 (担当:重成、菅原) ●メールアドレス plan@kyoiku-press.co.jp
 〒108-8638 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル 2F TEL.03-3280-7058 FAX.03-3280-7075
 (平日9:00～17:00、土・日・祝日を除く)

参加申込 下記の必要事項にご記入の上、FAXにてお申し込みください。 **FAX番号 03-3280-7075**

お申し込み受付後に、事務局から2週間以内に「申込受付書」をFAXいたします。

申込書		いのちの教育セミナー 2018	
参加会場	<input type="checkbox"/> 11/11 関西	フリガナ	●勤務先名/所属
	<input type="checkbox"/> 11/17 関東	●お名前	
●ご住所 <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。		〒	※受講証を送付します。
<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> ご自宅			
●電話番号	()	●FAX番号	()
		●メールアドレス	

【個人情報の取り扱いについて】 ●日本教育新聞社では、お客様の個人情報を本セミナーに関するご連絡・資料の送付、今後のセミナー・研修・出版物などについてのご案内、メールマガジンの配信、営業活動全般および商品に
 対する問い合わせ、ご相談への対応に利用いたします。日本教育新聞社のホームページにプライバシーポリシーを掲載していますので、ご確認ください。
 ●当日は日本教育新聞の取材が入ります。写真撮影させていただき、掲載の可能性がございますのでご理解をお願いいたします。